

# 10月の糖尿病教室の様



10月28日(土)第3回糖尿病食試食会と  
第7回糖尿病教室を開催しました。

今回のテーマは

『治療薬について知ろう

～薬の作用・服用方法～』

講師は薬剤師：越智 ・ 看護師：栗原でした。







**薬剤師が内服薬・インスリンの種類・作用・副作用・注意点について説明を行い、看護師がインスリンの針の片付け方やもしものときの対処法などの説明を行いました。**





# 糖尿病治療薬(飲み薬)の種類と作用

**SGLT2阻害薬**  
 ○腎臓にある尿細管からのブドウ糖の取り込みを抑え、尿中に糖を排泄しやすくします。  
 ●起こりやすい副作用：脱水、尿路・性感染症など

**ビグアナイド薬**  
 ○主な働きとして、肝臓が糖を作るのを抑えます。また、消化管からの糖吸収の抑制や、筋肉などでインスリンの感受性を改善する作用などがあります。  
 ●起こりやすい副作用：下痢、悪心など

**チアゾリジン薬**  
 ○脂肪組織、筋肉、肝臓などにほたらきかけ、からだでのインスリンの効果を高めます。  
 ●起こりやすい副作用：むくみ、体重増加など

**スルホニル尿素の作用薬**  
 ○膵臓でのインスリン分泌を促します。  
 ●起こりやすい副作用：低血糖、体重増加など

**速効型インスリン分泌促進薬(グリコド薬)**  
 ○速やかに働き、膵臓でのインスリン分泌を促します。食後高血糖を改善します。(食後の内服)  
 ●起こりやすい副作用：低血糖など

**DPP-4阻害薬**  
 ○膵臓にはたらくインクレチンというホルモンのほたらきを強めます。  
 ●起こりやすい副作用：発熱、低血糖など(特に50歳やインスリンと併用時に起こりやすい)

**α-グルコシダーゼ阻害薬(α-GI薬)**  
 ○小腸での糖の消化・吸収を遅らせます。食後高血糖を改善します。(食後の内服)  
 ●起こりやすい副作用：お腹のぼり、おなら、下痢など

もしもの時のために

- 旅行など遠方へ出かける時には糖尿病カード、糖尿病手帳、保険証を持参しましょう
- 自分の飲んでいる薬の名前はメモにとっておきましょう

# インスリンの針

- 当院で使用しているインスリンの針



スライドの紹介





# 展示品コーナー



試食会の献立も教室で展示。1600kcalの献立例も確認できますよ!





# 11月の糖尿病教室のご案内



**日 時：平成29年11月25日(土)**  
**13:30～14:30**

**場 所：1階外来待合室**

**テーマ：『健康的な食事でコントロール  
食事の組み合わせに  
気をつけよう～』**

